

神宮外苑木を切るな

坂本龍一さんの手紙 小池知事は 完全無視

「東京都知事 小池百合子様」——音楽家の坂本龍一さんが、小池知事あてに出した神宮外苑の開発に対する手紙。この中では、「目の前の経済的利益のために先人が100年をかけて守り育ててきた貴重な神宮の樹々を犠牲にすべきではありません。これらの樹々はどんな人にも恩恵をもたらしますが、開発によって恩恵を得るのは一握りの富裕層にしか過ぎません。この樹々は一度失ったら二度と取り戻すことができない自然です」と記され、「あなたのリーダーシップに期待します」と結ばれています。

日本共産党都議団は、この手紙の受け止めについて知事に質問しました。ところが、知事は受け止めについても、読んだかどうかという事実についても、答弁に立ちませんでした。そういう知事の姿勢こそが、厳しく批判されているのです。

日本イコモスも、国際影響評価学会の日本支部も神宮外苑再開発に対して、厳しい意見をあげています。さらに、作家の村上春樹さんがラジオで神宮外苑の再開発について「個人的に強く反対しています」「二度壊した物ってね、もう元には戻りませんから」と話しています。

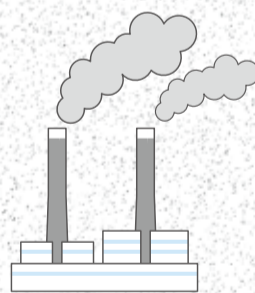
小池知事の肝いりの“エネルギー問題会議”

ず
ら
り

- 石炭発電こそ日本の強み
- 石炭火力は発電所として維持していく
- 石油、石炭のオプションは
しっかり残しておくことが重要

気候危機対策に
大きく逆行

石炭火力の 延命・維持論者



IPCCの第6次報告書が、大幅かつ急速な温室効果ガスの排出量削減を各国に求めたことを受け、都の目標や計画の前倒し、見直しを求めました。知事も、世界や日本の動向も踏まえた確に対策を講じると答え、その後、都は国に、第6次報告書を踏まえた対応を求めました。

しかし一方で、知事が設置した「エネルギー問題アドバイザリーボード」は、石炭火力、火力発電を延命させるためのものです。知事が依頼した委員は、「石炭発電こそ日本の強み」「石炭火力は発電所として維持していく」「石油、石炭のオプションはしっかり残しておくことが重要」などと発言している石炭火力の延命、維持論者ばかり。世界の流れに逆行する、このような会議は早急にやめるべきです。

都立看護専門学校

現在、7つの看護専門学校(広尾、荏原、府中、北多摩、青梅、南多摩、板橋)があります。

都立大学・高専は来年度から年収910万円未満の世帯まで授業料が無償になります。一方、都立直営の看護専門学校(7カ所)は無償化対象になっていません。日本共産党都議団は、教育の無償化と看護師養成の充実のため、都立看学の授業料、入学料、入学試験料、寄宿舎使用料を無償化する条例提案を行いました。

否決されましたが、無償化を実現するため引き続き奮闘します。

授業料、入学料、受験料など

無償化条例

賛成



- 日本共産党
- ミライ会議
- グリーンな東京
- 生活者ネットワーク
- 東京の緑を守る会

反対



- 自由民主党
- 都民ファーストの会
- 公明党
- 立憲民主党
- 維新の会
- 自由を守る会